



皇和電機株式会社

<http://www.seiwa.co.jp/>
京都府城陽市寺田新池36番地
TEL: 0774-55-8181

経営理念

人材の開発と相互信頼に努め、
新技術に挑戦して、
社会に貢献する。

株主のみなさまへ	1
事業別の概況(連結)	3
トピックス	5
財務の状況(連結)	7
財務の状況(個別)	8
会社概要	9
株主メモ	10

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて当社グループ第65期第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)の事業が終了しましたので、その概要をご報告申し上げます。

当第2四半期におけるわが国経済は、東日本大震災の復興関連需要などを背景にした堅調な国内需要により、ゆるやかな景気を持ち直し傾向が見られました。しかしながら、長引く欧州の債務危機や長期化する円高などにより依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このようななか、当社グループにおきましては、従来にも増してコスト低減活動、製品品質向上活動に努め、顧客満足度を高めるべく提案営業活動を推し進め、事業推進力の一層の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は68億92百万円(前年同期比15.9%減)、経常損失は6億98百万円(前年同期は8億85百万円の経常損失)、四半期純損失は7億18百万円(前年同期は8億99百万円の四半期純損失)となりました。

中間配当については、従来どおり見送りとさせていただきますので、ご了承のほどお願い申し上げます。

今後の見通しにつきましては、震災復興事業や防災対策などによる需要の継続は見込まれるものの、景気の回復感は乏しく引き続き先行き不透明な状況が続くものと予想されます。このようななか、当社グループにおきましては、コスト競争力の強化に努め、諸費用の削減や業務改革の推進を行い、利益確保に全力を挙げて取り組んでまいります。

また、全事業分野にわたり社会の発展に寄与する独創的な商品の提供はもとより、省エネルギーを実現する商品の開発を促進し、地球環境に向けた取り組みを進めるとともに、品質・安全性の確保を図り、顧客満足の一層の向上に努めてまいります。

特に照明分野では、震災以降の節電意識の高まりにより省エネルギー化の動きが活発化し、LED照明に対する需要の拡大が一層加速しています。このような状況のもと、当社におきましても主力である産業用照明器具、道路・トンネル照明器具のLED化を進めて市場に投入し、積極的に展開してまいります。

さらに開発のスピードアップを図り、省エネ・CO₂削減を推進する提案営業活動により推進力を高め、LED照明事業の業績拡大を図ってまいります。

また、ひきつづき全社を挙げて内部統制の確立、コーポレートガバナンスの強化、コンプライアンスの徹底に取り組んでまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成24年12月

取締役社長

増山晃章



事業別の概況(連結)

情報機器事業

21億85百万円(前年同期比 31.7%減)

主要製品:
 情報表示システム
 トンネル防災システム
 LED式信号機



この事業の主力製品であります道路情報機器において、高速道路向けを中心に前年同期に比べ減少しました。

照明機器事業

22億32百万円(前年同期比 5.9%減)

主要製品:
 照明器具
 制御機器
 LEDデバイス部品



民間設備投資関連の産業用照明器具は、LED照明器具や蛍光灯器具などが着実に伸び、前年同期に比べ増加しました。一方、公共投資関連の道路・トンネル照明器具は減少しました。また、LEDデバイス部品は前年並みとなりました。

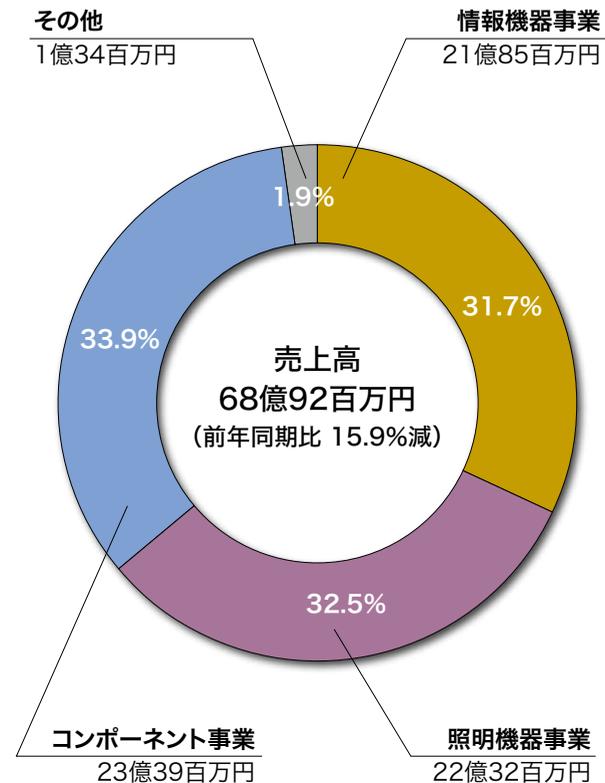
コンポーネント事業

23億39百万円(前年同期比 6.5%減)

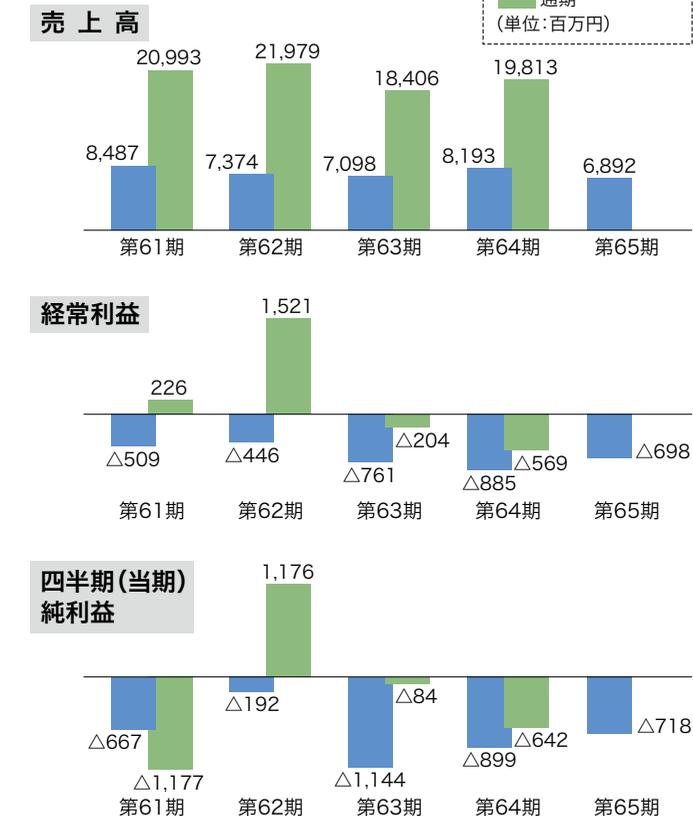
主要製品:
 配線保護機材
 配管保護機材
 電磁波環境部品



エアコン用の配管保護機材と配電盤や機械装置に用いる産業用配線保護機材は前年並みとなりました。また、電磁波環境部品は、前年同期に比べ減少しました。



財務ハイライト(連結)



自主展示会開催
「工場照明まるごとソリューション ～知っとこ! はずさない10のチェックポイント～」

LED照明器具「ペルピュールシリーズ」の
新製品8機種(71アイテム)を展示発表

昨今の電力事情の逼迫や低炭素社会への移行を背景とした需要の拡大に併せて、産業用LED照明器具のラインナップを拡充しています。

従来の水銀灯に替わる高出力LED照明器具は、多くの設置条件で従来製品に比べて大幅な省エネルギー効果を達成します。また、高い信頼性が求められる危険な生産エリアにおいては、製品品質の優位性も好評を得ています。

新製品の展示発表を大阪、福島、広島、千葉、東京にて順次開催していきます。



防爆形LED灯器具

防爆形LED灯器具

LED道路照明器具
(電源内蔵型)



展示会の様子



セミナー開催

TECHNO-FRONTIER 2012
EMC・ノイズ対策技術展 2012年7月11日～13日
東京ビッグサイトにて

電磁波環境部品他
新製品・開発品を展示発表

電磁波制御材をはじめ極薄導電性布テープ、熱伝導シート、高透過性シールドウィンドー、自動実装フィンガーの計5種類の新製品を展示発表しました。



導電性布テープ



電磁波制御材

また、参考出品としてフェライトコア入りエスシーロックと高透過性ヒーターパネルを展示発表しました。



フェライトコア入りエスシーロック



高透過性ヒーターパネル

全天候型リチウムイオン電池式無停電電源装置
LioUPS-LP

小型・高機能で
コストパフォーマンスを実現!

従来製品に比べ高機能化、低価格化を実現し、コストパフォーマンスを高めた全天候型リチウムイオン電池式無停電電源装置(LioUPS-LP)を発売しました。本製品は従来製品の性能に加え、自立起動モードの搭載により電源設備の無い場所での電気の供給を可能にし、小型・軽量化により省スペース化を実現しました。



財務の状況(連結)

	前第2四半期末 平成23年9月30日現在	当第2四半期末 平成24年9月30日現在	前期末 平成24年3月31日現在
【資産の部】			
流動資産	12,713	10,686	15,620
固定資産	7,264	6,924	7,339
有形固定資産	4,467	4,107	4,342
無形固定資産	219	284	296
投資その他の資産	2,577	2,531	2,701
資産合計	19,977	17,610	22,959
【負債の部】			
流動負債	9,725	7,636	11,541
固定負債	2,721	2,981	3,491
負債合計	12,447	10,618	15,032
【純資産の部】			
株主資本	7,323	6,752	7,580
資本金	3,380	3,380	3,380
資本剰余金	3,613	3,613	3,613
利益剰余金	527	△43	784
自己株式	△197	△197	△197
その他の包括利益累計額	114	144	251
少数株主持分	92	95	94
純資産合計	7,530	6,992	7,926
負債・純資産合計	19,977	17,610	22,959

	前第2四半期(累計) 平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで	当第2四半期(累計) 平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで	前期 平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで
売上高	8,193	6,892	19,813
売上原価	7,321	5,924	16,953
売上総利益	871	967	2,860
販売費及び一般管理費	1,723	1,623	3,383
営業損失(△)	△851	△655	△523
営業外収益	64	63	125
営業外費用	98	106	171
経常損失(△)	△885	△698	△569
特別利益	3	1	5
特別損失	14	4	65
税金等調整前四半期純損失(△)	△896	△701	△629
法人税、住民税及び事業税	12	12	23
法人税等調整額	△5	2	△7
少数株主利益調整前四半期(当期)純損失(△)	△903	△716	△645
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△3	2	△3
四半期(当期)純損失(△)	△899	△718	△642

	前第2四半期(累計) 平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで	当第2四半期(累計) 平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで	前期 平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	913	3,152	△544
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,115	△178	△1,462
財務活動によるキャッシュ・フロー	△604	△3,131	1,670
現金及び現金同等物に係る換算差額	△29	4	△23
現金及び現金同等物の増減額	△836	△153	△360
現金及び現金同等物の期首残高	2,977	2,616	2,977
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	2,141	2,463	2,616

財務の状況(個別)

	前第2四半期末 平成23年9月30日現在	当第2四半期末 平成24年9月30日現在	前期末 平成24年3月31日現在
【資産の部】			
流動資産	12,045	10,191	15,020
固定資産	7,750	7,235	7,689
有形固定資産	4,246	3,668	3,933
無形固定資産	120	141	156
投資その他の資産	3,383	3,424	3,600
資産合計	19,795	17,426	22,710
【負債の部】			
流動負債	9,704	7,541	11,435
固定負債	2,721	2,981	3,491
負債合計	12,425	10,522	14,926
【純資産の部】			
株主資本	7,194	6,733	7,488
資本金	3,380	3,380	3,380
資本剰余金	3,613	3,613	3,613
利益剰余金	398	△63	692
自己株式	△197	△197	△197
評価・換算差額等	175	170	296
純資産合計	7,370	6,903	7,784
負債・純資産合計	19,795	17,426	22,710

	前第2四半期(累計) 平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで	当第2四半期(累計) 平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで	前期 平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで
売上高	8,107	6,787	19,615
売上原価	7,204	5,822	16,693
売上総利益	902	964	2,921
販売費及び一般管理費	1,686	1,557	3,353
営業損失(△)	△784	△592	△431
営業外収益	66	62	117
営業外費用	95	103	169
経常損失(△)	△813	△633	△483
特別利益	3	1	5
特別損失	11	4	46
税引前四半期純損失(△)	△820	△636	△524
法人税、住民税及び事業税	10	10	20
法人税等調整額	0	0	△8
四半期(当期)純損失(△)	△830	△646	△536

会社概要

会社の概況(平成24年9月30日現在)

商号 星和電機株式会社
 英文名 SEIWA ELECTRIC MFG. CO., LTD.
 創業 昭和20年10月1日
 資本金 33億80百万円

事業所

本社・工場 京都府城陽市寺田新池36番地
 北海道支社 札幌市中央区大通西7丁目1番地1
 東京支社 東京都千代田区神田美土代町3番地3
 中部支社 名古屋市東区泉一丁目21番15号
 関西支社 大阪市西区靱本町一丁目4番12号
 営業所 東北(宮城県)・新潟・京都・高松・
 広島・福岡

役員(平成24年9月30日現在)

取締役社長(代表取締役) 増山晃章
 専務取締役(代表取締役) 愛知後秀作
 専務取締役 山口豊隆
 取締役相談役 富田泰溥
 取締役 佐野廣一
 取締役 正林啓志
 取締役 中島賛太郎
 取締役 井上通昭
 取締役 望月友彦
 取締役 乾勝典
 監査役(常勤) 酒井邦夫
 監査役 中野淑夫
 監査役 益満清輝

※監査役のうち中野淑夫および益満清輝は社外監査役であります。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 6月
 基準日 定時株主総会 3月31日(その他必要があるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。)
 期末配当 3月31日
 中間配当 9月30日

単元株式数 1,000株
 株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社
 同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

公告方法 当社のホームページ(<http://www.seiwa.co.jp/>)に掲載します。
 ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

お問い合わせ先

	証券会社の口座で株式をお持ちの場合	特別口座に記録された株式をお持ちの場合
郵便物送付先	お取引の証券会社	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	※支払明細発行については、右欄の「特別口座の場合」と同じ郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)
未払配当金のお支払い	みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 株式会社みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほインベスターズ証券株式会社では取次のみとなります。)	